

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 放課後等デイサービスnanohana		
○保護者評価実施期間	2024年11月 日		～ 2024年11月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	73 (回答者数)	55
○従業者評価実施期間	2024年11月 日		～ 2024年11月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・作業療法士、言語聴覚士などセラピストによる専門的な支援が受けられる。	・ご利用者様の特性に合わせた、知育グッズを作成したり、用意したりし、支援に活用している。 ・製作、運動遊び、おやつレク、調理レク、お出かけレクなど様々なレクリエーション活動を提供し、その中で個々の特性に応じて取り組み方法を工夫している。	・個々の特性の理解を深め、それぞれに必要な支援を行うために、積極的に外部講師を招いたり、専門的な知識を深めるための研修会へ積極的に参加し、研修の充実を図る。
2	・新しい建物で、清潔な活動スペースがあり、個々の特性に合わせて様々なスペースでのびのびと過ごすことが出来る。 ・感覚統合遊具による発達支援を行うことが出来る。	・清潔保持に努め、毎日気持ちよく利用がスタートできるようにしている。定期的に壁面かざりを掲示したり、子ども達の作品を掲示したりしてアットホームな雰囲気を作れるよう心がけている。	・ご利用者様の実態に応じ、個々の特性を理解し、ご利用者様に合った環境整備を心がける。
3	・入浴サービスの実施。	・保護者様の負担軽減を図ったり、ご利用者様に入浴の気持ちよさや清潔に保つことの気持ちよさを味わえるよう支援している。	・個々の特性に応じ、着脱や洗髪等ご自身で身の回りのことが出来るよう生活動作の向上の支援を継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外遊びへ出かけたり、気軽に外部へ出掛けることが難しい。	・中庭が狭く、近くに公園がないため気軽に外遊びを設定することが難しい。 ・平日は入浴サービスの関係で外へ出かけることが難しい。	・隣接の高齢者のデイサービス、託児所、認可外保育所との連携を行い、計画的に交流の機会を設け、ふれあいの時間を設定する。 ・長期休み期間などを活用し、外部へ出掛けるレクリエーションを設定する。
2	・避難訓練の周知できていない。	・毎月活動スケジュールを配布して周知しているが、年に複数回の実施で参加できる利用者様が限られるため。	・通信やInstagramなどで活動内容の情報発信に努める。 ・同じ曜日ばかりに避難訓練の実施が行われないように設定する。
3			